埼玉新聞　5月4日付　スポーツ欄より抜粋

本田（大）永沼
園田
クス
相川、吉角
小島（加）島崎

八幡メッツなど2回戦

○…南部（2日・鴻巣フラワースタジアムほか）

開会式と1回戦16試合が行われた。

開会式で、目崎春治県スポーツ少年団野球部会南部ブロック長が「入場行進に試合に向けての気合が表れていてよかった。激戦を戦い抜き、県大会を目指してほしい」と選手を激励したほか、原口和久鴻巣市長、細田政一郎県スポーツ少年団野球部会審判長ら来賓があいさつ。続いて、開催地・鴻巣市の望月一生（鴻巣タイガース）井上航（松原マイティーズ）太田海斗（筑波ライオンズ）島健斗（りんどう）竹下純平（宮本）の5選手が団員綱領を朗読。

アスナロジャイアンツ（鴻巣）の塩沢剛主将が「日ごろの練習の成果を十二分に発揮し、正々堂々戦い抜きます」と力強く宣誓し大会の幕を開けた。

戸塚イーグルス（川口）が2年ぶりの頂点を狙った中丸ブレーブス（北本）をサドンデスの末下した。蕨グリーンファイターズが松原マイティーズを、筑波ライオンズは桶川イーグルスにそれぞれ7―6で競り勝ち1回戦を突破。

青柳ドラゴンズ（草加）、北本アトラス、伊奈ジャイアンツはいずれも二けた得点を挙げ圧勝したほか、差間フェニックス（川口）、西上尾コンドルズ、新曽北ドルフィンズ（戸田）、八幡メッツ（草加）などが2回戦へ進んだ。

▽1回戦

桶川ヤングアローズ 0000 0 / 1402× 7
（五回コールド）
中根ファイターズ（草加）
（桶）宮野、竹本―福田
（中）並木―森
▽三塁打　並木（中）▽二塁打
佐々木、亀山、森（中）
戸塚イーグルス（川口） 140001 6 / 410100 6
中丸ブレーブス（北本）
（戸塚イーグルスのサドンデス勝ち）
（戸）木下、鈴木達―吉川
（中）飯島―椿
▽三塁打　木下、築地（戸）▽二塁打　葛葉、長岡（戸）大西（中）
川口グッドボーイズ 502100 8 / 100101 3
上平（上尾）
（川）関―内桶
（上）小倉―堀
▽三塁打　高橋（川）藤村（上）
▽二塁打　吉川、小宮（川）
鴻巣タイガース 010120 4 / 40122× 9
（六回コールド）
新曽北ドルフィンズ（戸田）
（鴻）難波、望月―鈴木
（新）世良―清水
▽三塁打　竹内、望月（鴻）▽二塁打　望月、田沼、難波（鴻）清水、黒木、会田（新）
西上尾コンドルズ 103501 10 / 003000 3
（六回コールド）
戸田小ジャガーズ（戸田）
（西）村山、菅原―森本、村山
（戸）大黒―菅野
▽本塁打　菅原（西）▽三塁打　村山、水村（西）津布久（戸）▽二塁打　森本（西）大黒（戸）
松原マイティーズ（鴻巣） 310021 6 / 22201× 7
蕨グリーンファイターズ
（五回コールド）
（松）井上―沢本翼
（蕨）鷲見、菊地―寺本
▽三塁打　鈴木優、沢本翔（松）寺本2、宇賀村（蕨）
川口トニーズ 104102 8 / 010100 2
和光四小ベアーズ
（六回コールド）
（川）藤村―横山
（和）吉田、太田―天井
▽本塁打　横山（川）▽三塁打　井川（川）▽二塁打　助川大（川）大熊、美濃輪（和）
アスナロジャイアンツ（鴻巣） 201300 6 / 010100 1× 12
八幡メッツ（草加）
（六回コールド）
（ア）高松、清水―上條
（八）畠山―石田
▽三塁打　保科（ア）▽二塁打　長島2（ア）
小泉ジュニアーズ（上尾） 030000 3 / 000102 3
戸塚ジャガーズ（川口）
（小泉ジュニアーズのサドンデス勝ち）
（小）川島、松本、川島、松本―樋口
（戸）中村、藤原―伊藤
▽三塁打　赤松（小）
桶川イーグルス 101040 6 / 20131× 7
筑波ライオンズ（鴻巣）
（六回コールド）
（桶）大木―森脇
（筑）太田海―根岸
▽三塁打　大木、駒木（桶）榎本央（筑）▽二塁打　大平（桶）太田海（筑）
三笠（鴻巣） 000000 0 / 47540× 20
青柳ドラゴンズ（草加）
（五回コールド）
（三）滝沢、竹本優―手島
（青）若林泰―須鴨
▽本塁打　大桃（青）▽三塁打　若林泰2、須鴨、早坂（青）▽二塁打　児玉（三）
北本アトラス 350800 16 / 010100 2
中央グッドボーイズ（川口）
（五回コールド）
（北）加瀬、花川―大島
（中）佐藤、小川、信太―都
▽本塁打　加藤（北）▽三塁打　七海、林（北）▽二塁打　大島（北）佐藤、守岡（中）
青柳バッファローズ（草加） 011010 3 / 000013× 4
宮本（鴻巣）
（六回コールド）
（青）田上―高橋
（宮）江口―小野瀬
▽本塁打　石井隆（宮）▽二塁打　豊田（青）秋山（宮）
大石南ミラクルズ（上尾） 000000 0 / 20401× 7
新倉フェニックス（和光）
（五回コールド）
（大）高橋勇―淀紫
（新）小池―中村
▽二塁打　黒田（大）小池（新）
りんどう（鴻巣） 000000 0 / 5213× 11
伊奈ジャイアンツ
（五回コールド）
（り）島、松本―原田、島
（伊）阿部―松沢
▽本塁打　本多（伊）▽三塁打　林、山崎真（伊）▽二塁打　阿部2、松沢、滝沢（伊）
差間フェニックス（川口） 210003 3 / 010200 3
美女木ボーイズ（戸田）
（差間フェニックスのサドンデス勝ち）
（差）長坂、前野―板垣
（美）神浦―高橋
▽三塁打　遠藤（差）▽二塁打　板垣、稲垣（差）山田、神浦（美）

宣誓する塩沢主将と団員綱領を朗読した５選手（南部）

じた教育を

さいたま市スポーツ少年団野球部会新会長　坂場 勝利氏

いさつをする坂場氏

もたちが元気にプレー姿を見ると自然と体がまう」。そう話すのは、のさいたま市スポーツ球部会の総会で新会長た坂場勝利氏（71）。同部会の副会長などを初代会長の山内勝明氏いだ。

活動のきっかけとなったのが、長男の勝浩さんが所属した旧岩槻市少年野球連盟の平林寺ジャイアンツ（現・河合ジャイアンツ）の立ち上げ。以来、約35年にわたり発展に尽力してきた。同チームでは指導者や副団長を務め、冬場にサッカーを取り入れた練習で足腰を鍛えさせるなどユニークな指導で選手たちを見守ってきた。

浦和、大宮、与野、岩槻の4部会61団（選手数約2400人、指導者数約1200人）から成る中央ブロックで「子どもたちの交流以外に指導者たちの輪も広げたい」と、全体での開会式開催や交流大会の充実を模索している。

グラウンド内外での団員や指導者への安全指導、野球を通しての教育など伝えたいことはたくさんあると坂場氏は話す。当面は1期2年間で一体となった中央ブロックづくりに奮闘していく。